

# レッツ鳥取じまん

## ～鳥取城・城下町グループ～

知的障がい  
中学部 生活単元学習  
資料の活用

ねらい

- 自分たちの暮らす鳥取の歴史や文化について知ることを目的とし「鳥取城」を切り口に、実際に話を聞いたり調べたりしながら知ることによって、鳥取の魅力を感じる。
- 「鳥取城」について、自分が興味・関心をもったことを進んで調べたり、分かったことや感じたことをまとめたり、発表を通じて広く知らせたいという気持ちを育む。

### 学習展開（鳥取城・城下町グループ）

- ① 生徒たちに、「鳥取城」について興味のあることや知りたいことのアンケートをとり、学習グループの編成を行う。  
（「歴史」「城下町」「暮らし」の3グループ）
- ② 「やまびこ館」や「鳥取県立博物館」を見学した際に聞いた話や資料をもとに、調べる内容を決める。
- ③ 県立図書館資料やリーフレットなどの資料を活用して、鳥取城と城下町のことなどについて詳しく調べる。
- ④ プロジェクターを用いて古地図を作ったり、町の名前の由来や町旗印について調べたことを自分の言葉でまとめたりして、模造紙にまとめる。
- ⑤ 校内の児童生徒や教師、保護者や関係者に、パワーポイント資料を用いながら発表したり、質問コーナーで答えたりしながら、「鳥取城」の魅力を伝える。



資料をもとに作成した古地図



じまん展当日質問に答える様子

### ◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭は、単元の学習開始前に、学校司書に内容を伝えて資料の相談をする。また、リライト資料の作成。
- 学校司書は、県立図書館ややまびこ館の資料について問い合わせ、借り入れの依頼をする。
- 学習の進度や生徒の実態・興味関心に応じて学習内容を選び展開を考え、学校司書に相談し資料の追加を依頼する。

### ★指導のポイント

- ◆ 城があった戦国時代や江戸時代について始めに学習し、歴史の流れについて確認する。
- ◆ 成果物と一緒に、参考資料やリライト資料の展示をする。
- ◆ じまん展で、調べたことを発表したり、成果物を鳥取市役所や鳥取県立図書館に展示して地域へ魅力を伝えたりすることで、達成感を高める。

#### 資料

（城下町  
グループ）

『城下町とっとりまちづくりのあゆみー都市をめぐる冒険の書ー』（やまびこ館平成15年度 企画展資料）

『まるごと歴史遺産ここは城下にござる 因州鳥取の城下町再発見』

（鳥取市歴史博物館開館10周年記念特別展 改訂版）

『遷喬地区 町標幟図』（まちづくり活性化事業推進協議会 2007.11）